

新宮山彦ぐるーぷ第2402回

## 行仙宿の巡回整備

◇実施日 11月23日(日) 晴

◇参加者 沖崎吉信、梶野照雄、村吉光夫 3名

この日は不動峠地藏堂再建5周年、不動峠を歩くイベントの案内をいただいたので、今月の行事として進めていたが、11月20日に吉野きたやま森林組合の中村係長から電話があり「11月27日、奈良水源林整備事務所の富崎所長がモノレールの検分に見えるので、同行をお願いしたい」とのこと、急遽行仙宿へ3人で向かうことになった。不動峠には16名の皆さんが参加された。

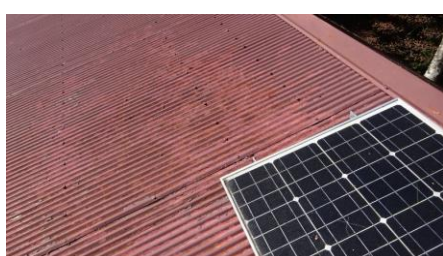
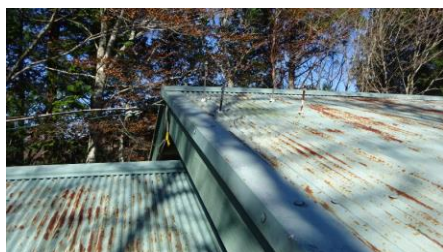


行仙宿に着く

お堂の扁額を調査

午前9時、登山口に着くと、村吉さんは早く来て丸太の防腐剤塗

りを済まされていた。程なく梶野君も着き、モノレールに3人が乗って登り始めた。持参したマキ袋を終点から両手に持つて小屋に向かった。



ソーラーパネルを撤去

ワイヤーロープで補強

屋根を掃除

小屋に着いて梶野君は先日繋ぎ変えたソーラーパネルのコードをワイヤーロープで吊り下げ、管理棟屋根のソーラーパネルを撤去していた。撤去したソーラーパネルは持経宿に増設するそう。沖崎、村吉の二人で薪の補充や薪小屋の整理を行い、行者堂に掲げられている玉岡さんが制作した扁額「斂而后己」(たおれてのちやむ)を降ろして検分した。この扁額については後日詳しく触れたい。午前11時を過ぎ、一段落したところで資材を少々手に行仙岳へ向かった。最近年のせいか歩くのがめっきり遅くなって、40分掛かって山頂に着いた。15日に工事が終わった三木の局舎を検分。北側の露出した基礎部分をモルタルで巻いたようだ。少し離れた場所に砂が15袋、砂利が8袋置かれていた。一袋15kgとすると300

kgを超える量になる。村吉さんと梶野君は登山ルートの設定を考えていた。お昼を過ぎていたので行仙宿へ戻る。途中の放置された丸太を一本、小屋まで運んだ。



行仙岳の三局舎



基礎の補強工事



残された砂利など



丸太を運ぶ



モノレールで下山



登山口に着く

小屋で昼食を摂った後、掃除や片付けを行い下山した。村吉さんはレールを潜る木の階段に防腐剤を塗るため先に下山されたが、肝心の防腐剤を終点に置いたまま下つてしまい、再び登り返して防腐剤塗りを終えられた。  
(記：沖崎)

### 行動タイム

09：00 補給路登山口 09：18→09：51 行仙宿 11：18→11：53 行仙  
岳 12：15→12：50 行仙宿 13：52→14：36 補給路登山口